



つ く る

1年2組学級通信 3月18日 第32号



1年間ありがとうございました。

今日で1年2組としての1年間が終わりました。今週の学活、プロジェクト、探究などの子どもたちの発表を見ていて、子どもたちが4月から大きく成長したことがわかりました。

生活面では、初めは、中々落ち着いて席に座ることができなかつたり、嫌なことがあると手が出てしまつたりする子もいました。そういった状況で嫌な思いをしたり、もっと授業に集中して取り組みたいと思つたりした子もいたかと思います。でもそういったうまくいかないことがあるたびに、子ども同士で話し合つたり、私自身も子どもの話に耳を傾けたりしながら、話し合い、共により良いクラスを目指してきました。今では授業と休みの時間のめりはりがあり、温かいクラスになりました。

学習面でも多くの点で成長しました。算数や国語では基本的な読み書き計算だけでなく、上の学年の問題や初めて見る発展的な問題にもあきらめずに粘り強く考えることができました。また自分の考えを持ち表現するという点については、中々自分の意見が持てなかつた子たちも少しずつ、自分の意見を持ち、情報を整理し、堂々と発表できるようになりました。

そして何よりこのクラスには優しい子が多いです。友達が傷ついていたたり、嫌な思いをしていたりする子がいると、必ず誰かが「大丈夫？」と心配して近寄っていく姿が見られます。私はそんな優しい1年2組の雰囲気がとても好きでした。このクラスの担任ができてよかったと心から思っています。

最後になりますが、保護者の皆様にもご理解ご協力いただき本当にありがとうございました。私自身は担任としては1番経験が浅く、保護者の方の中には不安に思われた方もいるかもしれません。それでも最後まで、色々な点でご理解いただき、温かい眼差しで見守っていただいたおかげで1年間、子どもたちと楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。

作り手になることは面白い

インターネットが普及し、気軽にyoutubeを見たり、ゲームをしたりして、何もしなくてもiPad一つで楽しめる今この時代に、教師をする中で子どもたちに何を伝えられるのか、そんなことを常に考えてきました。その中で伝えたかったことの一つは「自分で考えて作り上げていくということは本当に面白い。」ということです。これはただ受け身で、他者が作ったコンテンツをお客さんとして体験することよりもはるかに面白いです。この感覚を子どもたちには味わってほしいと思っていました。

1年生の総まとめとして、国語ではお話づくり、学活ではクラスでお店の出店、プロジェクトでは自分ぐんぐんプロジェクト、探究では自分の問いを元にした発表をしました。自分で何かを作り上げていく様子はゲームをしている時とは全く違います。真剣な眼差し、考え熱中し、少しでもより良いものを作ろうとする姿勢、とにかく一生懸命でした。こういった姿がこれから社会を生きていくうえで必要なのではないかと考えています。

私自身、学校の開校前から学校づくりに携わらせてもらい、その面白さを社会人ながらに感じていました。また自分自身でこういうサービスがあったら良いなと思ったときに、プログラミングができないと作れないことがわかり、自分でプログラミングの言語を学び、今では自分でアプリが作れるまでになりました。大人になっても自分で何かを作り上げていくということは本当に面白いことだと感じています。でもそのためには、事前の準備を怠らない事や、学び続けることなどが大事になります。そういったことも含めて少しでも何か子どもたちが感じてくれたらうれしいです。子どもたちには、大人になってからも自分で考えながら、自分で道を切り開いていける人になってほしいと思っています。これからも子どもたちのことを応援しています。